

けんぽく

第4号[平成26年3月号]



平成26年3月31日発行
「食」と「ふるさと」
新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。

◆平成26年2月8～9日及び14～16日の降雪等に伴う農林水産業関係被害について(県の第6報より)

平成26年2月8～9日及び14～16日の降雪等に伴う農林水産業関係被害の県北地方における状況は、5億2千1百万円に上っており、県全体の約5割を占めています(3月24日現在)。

【県全体の被害額(農林水産業関係、速報値)】 **1,001,309千円**

【県北地方の被害額】 **521,589千円**

[内訳]

○農業関係施設等被害

(共同利用施設)

区分	件数(件)	被害額(千円)
耕種関係	1	338
計	1	338

(非共同利用施設)

区分	件数(件)	被害額(千円)
耕種関係	54	4,152
畜産関係	14	37,022
園芸関係	1,805	400,962
その他	21	1,458
計	1,894	443,594

○農作物・樹体及び家畜等被害

区分		被害面積等(ha)	被害額(千円)
農作物	野菜	4.81	46,703
	花き	40.39	17,352
樹体	果樹	2.13	535
家畜等	家畜(家きんを含む)	-	3,225
	畜産物	-	6,206
計		-	74,021

○森林被害

区域面積(ha)	実面積(ha)	被害額(千円)
1.48	1.48	3,636

◆2月の雪害「被災農業者相談窓口」を開設しました！

平成26年2月8～9日及び14～16日の豪雪は、多くのパイプハウスなどの農業施設が潰されるなど、復興半ばにある本県農業に大きな影響を及ぼしました。

県では、被災した農家の方の再起に向け、負担を大幅に軽減できるよう、低利の災害特別資金を用意するとともに、これまでの県の災害対策を大幅に拡充した新たな助成事業「平成26年2月豪雪農業災害特別対策事業」を創設するなどの対策を速やかに実行して参ります。

農林事務所では、これらを踏まえ、営農相談活動を強化するため、3月5日から「平成26年2月の雪害等に係る被災農業者相談窓口」を開設し、補助事業や資金、作付計画・栽培技術等に関する支援を行っておりますので、ぜひ御活用ください。

●「平成26年2月の雪害等に係る被災農業者相談窓口」

県北農林事務所農業振興普及部 電話：024-535-0393

〃 伊達農業普及所 電話：024-575-3181

〃 安達農業普及所 電話：0243-22-1127

(農業振興普及部)

◆鳥獣対策を主題に伊達地方農業士会研修会が開催されました！

平成26年3月4日(火)、伊達市保原町の伊達合同庁舎において伊達地方農業士会研修会及び総会が開催されました。研修会講師は、県農業総合センター企画経営部企画技術科の木幡栄子主任研究員が務め、「鳥獣害の現状と対策について」と題しての講演をしました。講演は、鳥獣の捕獲数を増やしても被害を軽減できない可能性が高いこと、対策として、集落内の餌をなくすこと、畑を電気柵で囲むこと、人と鳥獣との境界線をはっきりさせること等が大切であ



看板を掲げる清野所長(右)と丹治農業振興普及部長

る等の内容でした。引き続き行われた意見交換の中では、アライグマの目撃情報やハクビシンの大量の糞が発見されたこと等が報告され、会員それぞれの地域で話題となっている鳥獣の種類やその対策について、熱心な話し合いが行われました。

伊達地方では近年イノシシの被害が増加しており、また、サルやクマ等の被害も継続しています。講演でも強調された「地域ぐるみで日常的



農業総合センター主任研究員の講演

に人と鳥獣との住み分け対策を実施していく必要がある」ことから、伊達農業普及所としても地元市町等関係機関や農業者と連携して、その取組を強化してまいります。

なお、研修会終了後には同会総会が開催され、平成26年度事業計画及び予算等が決議されるとともに、新会長に伊達市月舘町の関根隆夫氏が選出されました。

(伊達農業普及所)

◆そばで大玉村に元気を！

～第2回あだたらの里大玉村そば祭り開催～

平成26年2月23日(日)、大玉村農村環境改善センターにおいて、「あだたらの里大玉村そば祭り」実行委員会(構成員：あだたらそば生産組合、大玉じんだら会、大地の恵み・東きづな塾、大玉スポーツクラブそばサークル)主催による第2回「あだたらの里大玉村そば祭り」が開催されました。

大玉村のそばは、現在約35ha作付けされ、県内でも有数の産地となっています。品種は全て県オリジナル品種の「会津のかおり」を使用し



第2回あだたらの里大玉村そば祭りの様子

ています。「会津のかおり」は、平成19年に品種登録され、食

味が良好で特に「香り」「味」「喉ごし」の評価が高く、また、延ばし時の割れが少ないため、県内全域に普及しています。

当日は、来場者が村内外から約400人が訪れ、温かいかけそばと冷たいつけそばの2種類を賞味しました。

また、会場では、そば粉やそば打ち道具、工芸品の販売、大玉村商工会による大玉村の特産品の販売が行われました。

今回のそば祭りは、大変な盛況となり、今後の大玉村のそば振興につながる一日となりました。

(安達農業普及所)

◆第2回木とのふれあい木工教室を開催しました！



森林の機能等を説明する
農林事務所担当者



農林事務所職員による製作指導

材を用いて木材の特性を体感し、自然素材である木を使った物作りの楽しさを学ぶ機会を得ることを目的としています。

はじめに、森林林業部担当者から森林の機能や間伐の大切さの話があった後、地元製材工場の方と森林林業



贈呈した木製品とともに記念撮影

平成26年2月19日(水)、第2回木とのふれあい木工教室が、福島市立蓬萊東小学校で開催され、同校の6年生25名が参加しました。

この事業は森林環境税を活用したもので、児童が県から提供された木工工作資

部職員の指導で、県産材スギのテーブル2台、ベンチ10台を組み立てました。午後には、児童の代表者が、蓬萊東小の近くの特別養護老人ホーム「ひまわり苑」を訪れ、製作したテーブルとベンチを贈呈しました。

(森林林業部)

◆平成25年度県北地方農家民宿等おもてなし研修会を開催しました！

2月28日(金)に、福島市の杉妻会館において、「ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC)」に向けて農家民宿おもてなし研修会を開催し、県北地方で農家民宿を開業している農業者や行政関係者18名が参加しました。

まず、県北地方振興局企画商工部の担当職員から「ふくしまデスティネーションキャンペーン」について、全体概要の説明を受けました。

続いて、山形県飯豊町「なかつがわ農家民宿組合」組合長の伊藤信子氏から「なかつがわ農家民宿組合」の取組について、農家民宿を始めたきっかけや組合の事業内容など体験談のお話をいただきました。

さらに、組合事務局の飯豊町役場農林振興課主査の伊藤満世子氏加わっていただき、県北地方の関係者らと情報交換を行いました。

飯豊町中津川地区は雪深いため、お客様には必ず泊まってもらう習慣があり、他人を泊めることに抵抗がなかったそうです。

今年6月から9月まで「やまがたデスティネーションキャンペーン」が行われるため、福島県との連携が示唆された研修会となりました。

(企画部)



山形県飯豊町「なかつがわ農家民宿組合」組合長 伊藤信子氏



飯豊町役場職員を加えた情報交換会

◆平成 26 年度県北地方防霜対策本部を設置しました！

平成 26 年度
県北地方防霜対策本部（以下、「対策本部」）を
3月 24 日に設置
しました！設置
の期間は3月 24
日から6月 6日



看板を掲げる清野所長(右)と目黒次長

までで、この間、霜注意報等気象情報の収集や凍霜害防止
のための技術対策の指導等に当たります。

県北地方は、ももを始めとした果樹の一大産地であり、今

後の開花～結実に向けて気が抜けない時期となります。

なお、対策本部の設置場所は、以下のとおりです。

場所 福島県土地改良会館 3階(県北農林事務所内)

住所 〒960-8502 福島市南中央三丁目36番

電話 024-535-0452 FAX024-536-9590

(農業振興普及部)

お知らせ

福島市中央卸売市場が地方卸売市場に変わります！

本年4月1日に「福島市中央卸売市場」が「福島市公設地方卸売市場」に転換します。

規制緩和による市場活性化に向けて、管理運営を卸売市場協会が指定管理者となり、世界一「安全・安心・新鮮」な市場づくりに取り組んでいきます。

福島市中央卸売市場は、一昨年の開場 40 周年を契機として、今後の市場がどうあるべきなのかの議論を積み重ねてきました。結論は、「流通形態が様変わりしていく中、原発事故の影響もなかなか見通せない。であれば、従前と同じことをやっているのはダメ、自ら自由度の高い地方卸売市場を選択し、本市場ならではの活性化を目指そう」でした。

まずは、市のプラン、協会のビジョンに基づく「市民に親しまれる市場づくり」と「消費拡大事業の強化」です。市民・消費者の皆様は直接市場に入ってください機会を拡充してまいります。

福島市公設地方卸売市場は、今後も卸売市場の使命である市民・消費者の台所を、そして、豊かで潤いのある生活を、自信と誇りを持ってしっかりと守ってまいります。

この度の転換を契機に、多くの市民・消費者に入場いただき、客観的なデータに基づく県産品の安全性と世界一安全・安心な市場をアピールするため、第3回市場パネル展を実施します。皆様是非お越しください。

○期間 平成26年4月1日(火)～8月 23 日(土)

○時間 開場日の午前 10 時から午後4時まで ※開場日は市場協会ホームページで御確認ください。

○会場 管理事務所1F

新ふくしま農業協同組合

～「本気力」で地域のど真ん中にあるJAづくり～

【組織の目的】

「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。暮らしの豊かさと安心を支援し、提案します。地域と共生し、その発展に貢献します。

【構成】

当JAは福島市と川俣町を事業管轄としており、正組合員は 10,984 人、准組合員は 13,613 人、役職員は 626 人となっております(平成 26 年1月 31 日現在)。

【活動内容】

営農指導事業・生活指導事業・販売事業の 3 つの事業を柱とし、さらには地域活動、教育文化・生活文化活動などの事業も展開しています。

【特にPRしたいこと】

管内に7ヶ所あるJA新ふくしまの農産物直売所「こころ」は、地産地消をコンセプトに、「生産者と生活者の場」・「食と農に関わる情報発信の場」となることを目指しています。安全な農産物で地域の食と農を育て、農業を通じた地域の元気と食と農を通じた社会貢献を実現します。

昨年6月には本店事務所となりの「こころ」矢野目店がリニューアルオープンしました。新鮮な地元農産物を各種取り揃え、連日賑わいをみせております。週末には各店舗でさくらんぼ祭り・もも祭り・新米祭りのようにイベントを開催しているため、季節を感じながら、福島の美味しい農産物をお買い求め頂けます。

今後も、安全で安心な食を提供するための取り組みを続け、生産者と生活者がより近くにいる地産地消の本来の形を目指してまいります。



■昨年 6 月にオープンした矢野目店



■多くの人で賑わう店内

お知らせ

県北農林事務所平成 26 年 4 月定期人事異動

現所属	氏名	新所属
所長	清野 隆彦	労働委員会事務局
次長	目黒 友	農業総合センター 農業短期大学校
総務部長	鳶影 政弘	ハイテクプラザ
専門技術管理員	田代 孝之	県北農林事務所 農村整備課
企画部長	佐藤 博志	農業総合センター
地域農林企画課 主任主査	菅野 登	農業総合センター 畜産研究所
主査	引地 力男	相双農林事務所
農業振興普及部主 幹(兼)副部長	志賀 美子	県北農林事務所 安達農業普及所
主査	中村 フチ子	農業総合センター 畜産研究所
地域農業推進課 主任主査	遠藤 文夫	南会津農林事務所
主査	鈴木 芳成	南会津農林事務所 (南会津郡南会津町駐在)
経営支援課長	長谷部 豊	県南農林事務所
経営支援課 主任主査	仁井 智己	農業総合センター
主査	須佐 宏信	農業総合センター 農業短期大学校
農地計画課長	荻野 隆男	県中農林事務所
農村整備課 主任主査	渡辺 健	農村整備総室
森林林業部長	堀江 隼人	林業研究センター
林業課 主任主査	奥寺 芳夫	林業研究センター
森林土木課 主任主査	藤原 浩幸	森林林業総室
主査	飯村 勝治	相双農林事務所

現所属	氏名	新所属
【伊達農業普及所】		
主査	岡田 初彦	農業総合センター 果樹研究所
【安達農業普及所】		
所長	伊東 秀正	いわき農林事務所
主査	國分 計恵子	農業総合センター
技師	尾形 亜希子	県中農林事務所
経営支援課長	加藤 義明	県北農林事務所 経営支援課
主査	田中 純子	農業総合センター 農業短期大学校
主査	矢島 環	県北農林事務所

【退職】※3月31日付け

農村整備部長	川久保 一雄
指導調整課長	宮澤 敏裕
農村整備課長	山内 弘巳
総務部	鈴木 邦雄
企画部	芳賀 裕
農村整備部	鈴木 貞雄
農業振興普及部	湯野川 守

※転出者を掲載しています(その場昇任を除く)。転入者は次号で御紹介します。

米の全袋検査

→ ふくしまの恵み安全対策協議会HPにリンクしております。

原発事故による、
摂取・出荷制限食品
【県北版】

ふくしま新発売。

けんぼく農林

検索

(PDF ファイルの場合、各バナーをクリックすると
それぞれのホームページが開きます。)

皆様からの御意見・御要望など様々な情報をお待ちしております。

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-535-0382

FAX 024-536-9590

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp



ふくしまから
はじめよう。